

2024年2月16日

関係各位

野村アセットマネジメント株式会社

日本PE戦略のファンドに投資を行う自家運用によるFoFs戦略を開始

野村アセットマネジメント株式会社(CEO兼代表取締役社長:小池広靖、以下「当社」)は、プライベートエクイティ(PE)市場の発展に貢献するとともに、幅広い投資家に国内PE投資の機会をご提供すべく、国内PEファンドを複数組み入れる「日本PE FoFs」戦略(以下「当戦略」)を立ち上げました。このたび、東京都に当戦略に基づき組成するファンド・オブ・ファンズが採用されたことを受けて、本日付で「脱炭素化・中小企業支援ファンド・オブ・ファンズ投資事業有限責任組合」*を設立します。

事業承継やカーブアウト、東証の市場再編に伴う非上場化、また日本政府が推進するスタートアップ5か年計画などを背景に国内PEはバイアウト、ベンチャー案件が増加傾向にあります。当社は、この流れをさらに促進すべく、国内PE投資分野における当社初の自家運用戦略として当戦略の提供を開始し、その旗艦ファンドである「野村プライベートエクイティ投資事業有限責任組合」は、2023年12月までにファーストクロージング(初回投資家募集)を完了しています。なお、当戦略ではバイアウトファンドを主な投資対象としますが、スタートアップ支援に重要な役割を果たすベンチャーキャピタル・ファンドも投資対象とする予定です。

当社では、パブリックに加え、プライベート領域におけるビジネスを拡大・強化する野村グループの戦略のもと、商品・サービスにおけるプライベート領域への投資機会を拡大しています。今後も幅広い投資家の皆様に、拡大するPE市場で創出される投資機会を提供することによって、投資の好循環(インベストメント・チェーン)の実現に貢献していきます。

*「脱炭素化・中小企業支援ファンド・オブ・ファンズ投資事業有限責任組合」の詳細は、[東京都ホームページ](#)をご覧ください。

以上